

※危険注意

ウレタン塗装仕上げのフローリングのウレタンを剥がしてオイル塗装にはしてはいけません。

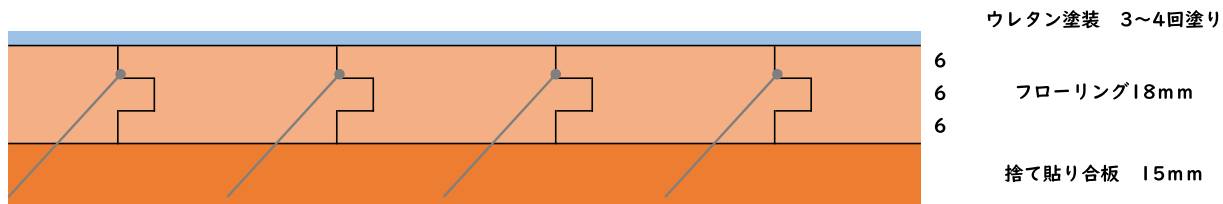
ウレタン塗装は、体育館シューズの滑り止めの役割を兼ね備えております。

剣道の足捌きは摺り足が基本ですが、滑り止めも兼ねるウレタン塗装の上で摺り足は上手にできません。

そこで、ウレタン塗装を剥がして、無塗装やオイル塗装に変更しようとするのは以下の様な危険が伴います。

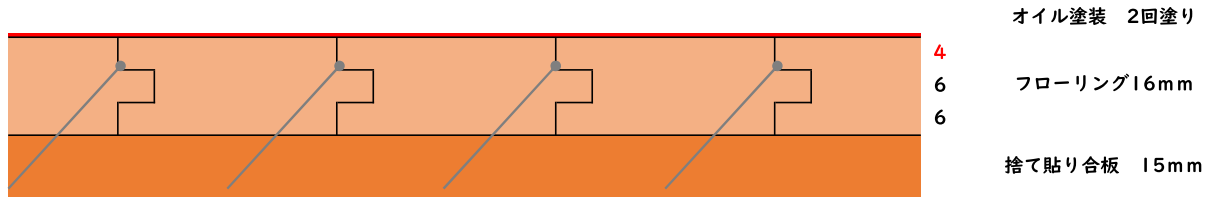
そもそもウレタン塗装仕上げのフローリングは、ウレタン塗装ありきで設計されています。

ウレタン塗装面が接着剤の役割を果たし、フローリングがしっかりと固定されるように設計されています。



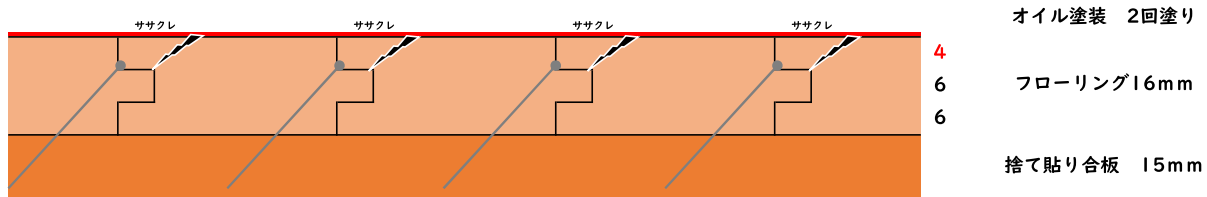
ウレタン塗装をサンディング（研磨）によって剥がす際におおよそ1~3mm表面を研磨します。

オイル塗装はウレタン塗装の様に表面に硬い塗膜を作らない含浸型塗料になります。



剣道の踏み込み足では、おおよそ700kg~1tの力が床に加わるといわれます。

薄くなったフローリング凹側上部にひび割れが入りササクレが起き、足裏に刺さり事故につながります。



特に剣道場については、床面を弾力があり軟らかく仕上げている道場が多く見られます。

軟らかい道場では、特にフローリング凹側上部に力が加わりやすく、ひび割れが入りササクレが発生しやすくなります。

オイル塗装で仕上げたいのであれば、元々オイル塗装仕上げの仕様で構造設計しなくてはなりません。

ウレタン塗装を排除し、床面を薄くして、床表面の強度を下げていることをご理解ください。

一剣士としても警告します。必ず事故が起きます。上記の様な安易な考えは改めて下さい。